

知財ROIC経営：特許の「量」から「価値」へ

特許の「量」重視



「とりあえず特許」からの脱却

特許の「量」ではなく、事業貢献度という「質」を重視する経営へ。



コーポレートガバナンス 改革が後押し

知財投資の戦略的な開示が上場企業に求められるようになった。

投資家は 「価値創造ストーリー」を要求

特許件数だけでなく、将来の利益にどう繋がるかの説明が必要。

知財ROIC経営の導入効果と課題

ブリヂストンは「知的財産価値創造性」KPIを約2倍に向上



知財投資・質スイキア
知財投資が効率を高め、部門貢献をのり下へに繋がる。

事業貢献度度の定量化
利益への貢献の証明や、評価格を持つ人材が挙げられる。

メリット：投資対効果の「見える化」
経営資源の効率的な配分や、部門間の対話促進に繋がる。

課題：事業貢献度の定量化
利益への貢献の証明や、評価スキルを持つ人材の不足が挙げられる。